

7 小麦・大豆の国産化の推進

令和8年度予算概算決定額 36百万円 (前年度 35百万円)
〔令和7年度補正予算額 7,008百万円〕

<対策のポイント>

産地と実需が連携して行う**小麦・大豆の国産化を推進**するため、施肥・防除体系の構築等による**生産性向上**や**増産**を支援するとともに、国産小麦・大豆の安定供給に向けた**ストックセンター等の再編集約・合理化**や民間主体の**一定期間の保管等**、**新たな生産・流通モデルづくり**や更なる利用拡大に向けた**新商品開発**等を支援します。

<事業目標> [令和5年度→令和12年度まで]

- 小麦生産量の増加 (109万t→137万t)
- 大麦・はだか麦生産量の増加 (23万t→26万t)
- 大豆生産量の増加 (26万t→39万t)
- 国産小麦・大豆の保管数量 (小麦：28,774 t→90,000t、大豆：6,258t→25,500t)

<事業の内容>

1. 国産小麦・大豆供給力強化総合対策 36百万円 (前年度35百万円) 〔令和7年度補正予算〕5,008百万円

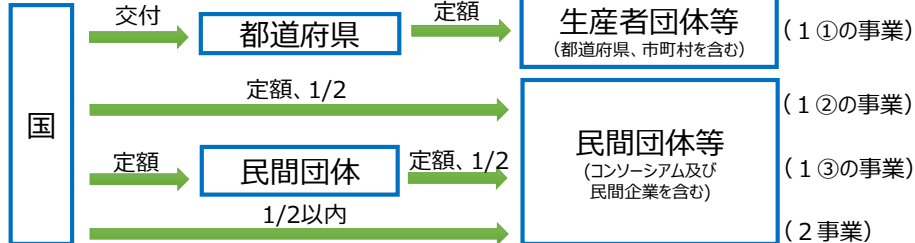
- ① **生産対策 (麦類生産技術向上事業)**
麦の生産性向上を目指す産地に対し、**施肥・防除体系の構築等**を支援します。
- ② **流通対策**
ア 小麦・大豆供給円滑化推進事業
国産小麦・大豆を**一定期間保管**するなど、安定供給体制を図る取組を支援します。
イ 新たな生産・流通モデルづくり事業
麦の品質向上や極多収大豆の種子生産に加え、新品種の導入、フレコンの本格導入、実需者の加工試験など、**新たな生産・流通モデルづくり**を支援します。
- ③ **消費対策 (小麦・大豆利用拡大事業)**
国産小麦・大豆の利用拡大に取り組む食品製造事業者等に対し、**新商品開発**等を支援します。

2. 新基本計画実装・農業構造転換支援事業のうち 小麦・大豆ストックセンターの再編集約・合理化

〔令和7年度補正予算〕2,000百万円

国産小麦・大豆の安定供給を後押しするため、**ストックセンター等の再編集約・合理化**を支援します。

<事業の流れ>



〔お問い合わせ先〕
(1 ①、1 ②ア(大豆)、1 ②イ、2の事業)
(1 ②ア(麦)、1 ③の事業)

<事業イメージ>

①生産対策



麦の施肥・防除体系の構築
(定額 (2,000円/10a以内))



生産性向上の推進 (定額)

②流通対策



- ・ストックセンター等の整備 (1/2以内)
- ・一定期間の保管等 (定額、1/2以内)
- ・新たなモデルの実証 (定額、1/2以内)

③消費対策



新商品の開発等 (定額、1/2以内)

小麦・大豆の国産化を一層推進

農産局穀物課 (03-6744-2108)
農産局貿易業務課 (03-6744-9531)